

2005年5月14日・15日、「都市環境デザイン会議 in 石川～里山をデザインする～」を開催しました。

都市環境デザイン会議in石川

日時：2005年5月14日（土）・15日（日）

会場：金沢湯涌創作の森

参加者：25名（佐川哲也〔講師〕、葉袋奈美子〔講師〕、島津勝弘、大丸英博、柳原恭順、上坂達朗、円満隆平、谷明彦、土田義郎、中村芳明、藤井美成、水野一郎、水野雅男、吉田洋、埜正浩、加藤哲男、玉森慶三、吉田真由美、他7名）



● 里山散策

日時：5月14日（土）13:45～14:45

会場：金沢湯涌創作の森内



● フォーラム「里山をデザインする」

日時：5月14日（土）15:00～17:30

会場：金沢湯涌創作の森 交流研修棟2階

○発表タイトルと発表者

1. 「開ヶ丘聚落構想」

富山国際職藝学院職藝基礎研究センター
大丸英博氏

2. 「応用生態工学の実践的取り組みー住宅団地造成におけるニホンリスの保全ー」
金沢工業大学環境・建築学部教授 円満隆平氏
3. 「市民による里山の整備・管理」
福井大学工学部講師 葉袋奈美子氏
4. 「“角間の里山自然学校”の歩みと里山メイト」
金沢大学教育学部助教授 佐川哲也氏
5. 「廃村集落の再生」
金沢工業大学環境・建築学部教授 水野一郎氏



葉袋先生のお子さん
も参加しました

熱心に聴き入る
参加者



○全体ディスカッション（主な意見）

- ・里山とは、自然と人間の営みが共存する場。
- ・里山を誰がデザインするかが問題。行政、大学、NPO、市民など、地域に応じた多様な主体が必要。
- ・里山をデザインするには大義名分が必要であり、それには市民の意識の高まりが大切。
- ・里山を管理するとしても、土地の所有が問題であり、借地や自由に使用できるしくみづくりが必要。
- ・里山をデザインすることよりも、住みたい人や利用したい人がどうしたいかが一番大切。

- ・楽しく維持管理できる工夫が必要であり、そのためには里山から恵みを得られる状況にすること。
- ・生活に里山との関わりを持ち込み、里山との関係を取り戻すことが大切。
- ・里山全体をデザインすることは難しいが、里山と人との関係をデザインすることは可能。



短時間だが濃縮されたディスカッション

● 懇親会

日時： 5月14日（土）19：00～22：00

会場：金沢湯涌創作の森 宿泊棟食堂

- ・湯涌温泉総湯など会場周辺の温泉で汗を流したあと、懇親会を開催しました。
- ・懇親会では、山菜や岩魚など、地元の食材を使った料理や石川・新潟の地酒のほか、福井からは玉森さんがカレイの干物、富山からは柳原さんがかまぼこを持ち寄ってくださり、北陸各地の味を堪能しました。
- ・また、次回フォーラムについて協議し、北陸新幹線をテーマに三国でカニを食すこととしました。



JUDI北陸といえ、やっぱりお酒です

たくさんの干物を一枚ずつ焼いて振る舞う玉森さん



● 湯涌温泉街散策

日時： 5月15日（日）9：00～10：30

会場：湯涌温泉街

- ・里山の朝は大変すがすがしく、創作の森では、カモシカも見られました。
- ・創作の森をあとにし、午前中は近くの湯涌温泉街を散策しました。湯涌温泉は、電線類の地中化・道路の修景整備がなされ、建物の色が茶系に統一されるなど、街並みへの配慮が見られました。
- ・この日、温泉街では青葉のお楽しみ市というイベントが開催されるため、沿道では慌ただしく準備が行われ、朝市は多くの客で賑わっていました。
- ・また、大正6年に竹久夢二が湯涌温泉に滞在したことになんで建てられた金沢湯涌夢二館を見学し、解散となりました。



湯涌温泉街を散策



大人気の朝市

● 次回フォーラム予告

日時：12月10日（土）13：00頃～

テーマ：（仮）北陸新幹線と都市環境デザイン

会場：福井駅前 響きのホール（T.M.O施設）

終了後三国の国民休暇村で宿泊（カニ付き）

11日（日）午前中 三国散策

●活動・その他について、ご意見・情報をお寄せください。

【お問合せ先】

都市環境デザイン会議北陸ブロック

幹事 ● 谷 明彦（金沢工業大学）

TEL076-294-6714 / FAX 076-294-6707

E-mail dr-tani@neptune.kanazawa-it.ac.jp

事務局 ● 埴 正浩・吉田真由美

（株）日本海コンサルタント）

TEL 076-243-8258 / FAX 076-243-0810

E-mail m-rachi@nihonkai.co.jp